

シネマズライフ

2019年12月6日発行 第173号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事！】

『漫画誕生』

NHKの朝ドラ『スカレット』で好々爺(こうこうや)の師匠を演じたイツセー尾形が今度は日本近代漫画の元祖・北沢楽天を演じます。この方も晩年は日本画をお描きになります。

ウィキペディアを参考にさせて頂きました。

【最近のこれはまずいぞ！】

『どうして？すけひら』この題名では、中身はわかりにくいけどどうもラブコメディらしい。

映画の風景 日本の風景

※ 谷川岳 ※



← 谷川岳(トマの耳)

『クライマーズ・ハイ』という映画があった。こんな映画だ。

昭和60年8月12日朝。群馬県の地方紙・北関東新聞社に勤める佐木は販売部の安西とその日の夕方から谷川岳衝立岩登頂に挑戦する約束だった。ところがその夕方、日本航空のジャンボ機が群馬県上空で消息を絶ったとの連絡が入った。日本の航空事故で未曾有の被害を出した『日本航空1123便墜落事故』である。

群馬県での事故でもあり、記者の佐山と神沢が山中を彷徨いながら現場にたどり着き、取材を重ねるが現場の悲惨さとメジャー新聞社との取材合戦で2人は神経をすり減らす。

全権を任せられた佐木も次々と入ってくる被害の悲惨さに驚くが、やがて『おそろく事故の原因か？』と聞かれる事実が発覚し、佐木は記事にするか？しないか？を迫られる…。

『クライマーズ・ハイ』とは『登山中に緊張状態が続き、危機意識がマヒする事』。

映画は未曾有の重大事故と同時に起こった親友の死、地方新聞の悲哀・ハイに遭遇する男を描く。

谷川岳は日本での屈指の登山者の多い山だが、遭難者の多い山だとも言われている。

『クライマーズ・ハイ』の時の判断が間違えたとすべてが狂ってしまう。映画の佐木は結局『クライマーズ・ハイ』を越えられたのだろうか？越えられなかったのだろうか？その答えは私にはいまだ見つからない。

『クライマーズ・ハイ』2008年日本 監督 脚本：原田真人 脚本：加藤正人 成島出
出演：堤真一 堺雅人 尾野真千子 高嶋政宏 山崎努 遠藤憲一 滝藤賢一 でんでん 野波麻帆 西田尚美 小澤征悦

映画では唯一の女性記者として尾野真千子が出演。工学部出身の気鋭記者を演じているが仕事仲間の死を知ってもどこか冷静な女性記者を力演しています。

コラム

しつこい國別に確った件

先月の6日の夜、突然発熱し、インフルエンザではなかったものの、なかなか熱が下がらず、とうとう11月は『シネマズライフ』の発行を休んでしまいました。必ず、最低月一回は発行するように心がけていたのです。が、本当に残念でした。

今号から、復活しますのでよろしく願います。



とはいえ、もう12月。寝込んでる最中思った事。今年はずっと落ち着いた日々を送れるかと思いきや、世界的には『戦争の危機』が勃発していたり、『貿易戦争』が起ころたり。片や日本といえば、あいかわらず最大の事件は、芸能人の『結婚』か『離婚』。また、殺伐とした『殺人事件』。肝心な知りたいニュースはマスコミは取り上げない。しかし、それで日本は『平和』だなぁと思う幸せな人も多いワケで、確かに日本は『平和』だわ…。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介しす!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合も
ありますので確認をお願いします。(c) (b)

『スターリンの葬送狂騒曲』

スターチャンネル

2017年 フランス イギリス ベルギー カナダ

監督 脚本:アーモンド・イアヌッチ

脚本 原作:ファビアン・ニユリ 原作:ティエリー・ロバン

脚本:アーモンド・イアヌッチ デヴィッド・シュナイダー イアン・マーティン

出演:スティーヴン・ブシェミ サイモン・ラッセル・ピール マイケル・ペイリン

12月8日(日)14:45 (吹)
12月15日(日)18:00
12月17日(火)20:00 (吹)
12月23日(月)23:00
2020年1月6日(月)15:30 (吹)
2020年1月8日(水)18:00
2020年1月14日(火)23:00
2020年1月24日(金)26:50 ⇒ 1月25日(土)2:50

【チャンネル3】
【チャンネル1】
【チャンネル3】
【チャンネル1】
【チャンネル3】
【チャンネル1】
【チャンネル1】
【チャンネル1】

スターリンが権力の頂点に立っていた1953年のソ連。側近達との宴会の後、スターリンは寝室で転倒し翌朝発見された。医師を呼ぼうにも、優秀な医師がスターリンの行った「粛清」の為1人もおらず治療が遅れ数日後死去する。側近達(ペリヤ、マレンコフ、ブルガーニン、フルシチョフなど)は独裁者の死に密かに喜ぶが早々に権力を手に入れる為暗躍し始める…。

ソ連の独裁者・スターリンが死んで始まる権力を得る為の側近達の【泥仕合】を、ブラックに描く。やってる本人達は必死なのだが見ている方はやはり面白い。現ロシアと数国では上映禁止になったが世界中で大受けした。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったら感想をお叱りお聞かせください。よろしくお願ひします!(c) (b) 貴樹諒音

『ドクトル・ジバゴ』

ザ・シネマ

1965年 アメリカ イタリア

製作:カルロ・ポンティ 監督:デヴィッド・リーン

脚本:ロバート・ボルト 原作:ボリス・パステルナーク

出演:オマー・シャリフ ジュリー・クリスティム・コートネイ

アレック・ギネス ジェラルディン・チャップリン
ロッド・スタイガー リタ・トゥシナム クラウス・キンスキー

12月9日(土)9:00
12月9日(月)26:30 ⇒ 12月10日(日)2:30
12月17日(火)9:00

第二次世界大戦も終り、国内も落ち着きを取り戻したソ連。將軍・イエブグラフ・ジバゴは、弟・ユーリ・ジバゴの娘と思われるトーニャと会う。そこで革命の為混乱していた帝政ロシアで人生に翻弄されたトーニャの父と母・ラーラの話を持って聞かせる…。子供時代、バラライカ奏者の母親と死に別れたジバゴはモスクワで親戚の家に取り込まれ、その娘・トーニャと婚約する。詩人になりたかったが医師になる決心をしていた。その頃、複雑な事情の為母の愛人を拳銃で撃ってしまったラーラと出会う。やがてトーニャと結婚したジバゴだが、ラーラとも愛し合うようになり、運命はそれぞれ的人生を狂わせていった…。広大なロシアを舞台に四人の男女が絡むラブロマンスを描く。単なる男女の愛の軌道をこれほどの壮大な物語にするとさすが名監督・デヴィッド・リーンの手腕は素晴らしい。

★次回発行は12月20日です。今月発行予定は第1・3金曜日です。(c) (b)

2014年 日本
監督:本木克己
脚本 原作:土橋幸宏

『超高速！参勤交代』

出演:佐々木康之介 藤田彩子 西村龍彦 伊原健志 鎌内孝樹 上地雄輔 納本晴生 六角精児 石橋雄司 甲本雅裕 近藤公園

江戸時代、徳川吉宗の時代。陸奥国磐城の小藩・湯長谷藩の藩主・内藤政醇まさあつは一年の江戸での城勤めを終え、やつとなつかしい故郷に帰ってきた。ところが帰国して翌日、江戸から知らせが届き8日かかる参勤に5日の内にもう一度江戸に参勤せよという命令が出たという。よく話を聞けば湯長谷藩の金山から出た『金』の量を偽ったからだといふのだ。



湯長谷藩の金山から出た『金』の量を偽ったからだといふのだ。

しかし、その『金』は金に見える鉄くろがねなのだ。勘違いした老中・松平信祝の『金』目当ての差し金だ。熟慮の末、もう一度江戸に参勤する事にするが、4年前の飢饉と直前の参勤の為、資金は底をついていた。そこで知恵者の家老・相馬のアイディアで、

江戸時代、徳川吉宗の時代。陸奥国磐城の小藩・湯長谷藩の藩主・内藤政醇まさあつは一年の江戸での城勤めを終え、やつとなつかしい故郷に帰ってきた。ところが帰国して翌日、江戸から知らせが届き8日かかる参勤に5日の内にもう一度江戸に参勤せよという命令が出たという。よく話を聞けば湯長谷藩の金山から出た『金』の量を偽ったからだといふのだ。しかし、その『金』は金に見える鉄くろがねなのだ。勘違いした老中・松平信祝の『金』目当ての差し金だ。熟慮の末、もう一度江戸に参勤する事にするが、4年前の飢饉と直前の参勤の為、資金は底をついていた。そこで知恵者の家老・相馬のアイディアで、

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ173号
発行人:貴樹諒音
発行日:2019年12月6日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



皆様もお気をつけて、かしこ(c) (b)

